

Nomos No.27 Dec.'10

ノモス 第27号 2010年12月

目 次

論 説

- 「敵対刑法」論とトマス・ホブズ 長 尾 龍 一 (1)
テロリズムと刑法: 韓国の視点から見た「敵対刑法」についての論争
—— 同時に Polaino-Orts 教授の発表論文に対する簡略なコメント —— ... 趙 炳 宣 (17)
わが国の経済安全保障政策の強化と海上運送事業 羽 原 敬 二 (25)
Restorative Justice Conferencing in New Zealand: Theoretical Foundations and
Practical Implications George Mousourakis (43)
-

行事記録

第42回シンポジウム

テロリズムと法 —— 緊急事態の法学的意味 ——

..... (67)

- 関西大学法学研究所規程(117)
関西大学法学研究所利用内規(119)
ノモス執筆要領(121)
ノモス編集要項(123)
関西大学法学研究所『特別行事報告書』刊行案内(125)
関西大学法学研究所『研究叢書』刊行案内(131)
関西大学法学研究所『ノモス』刊行案内(134)

